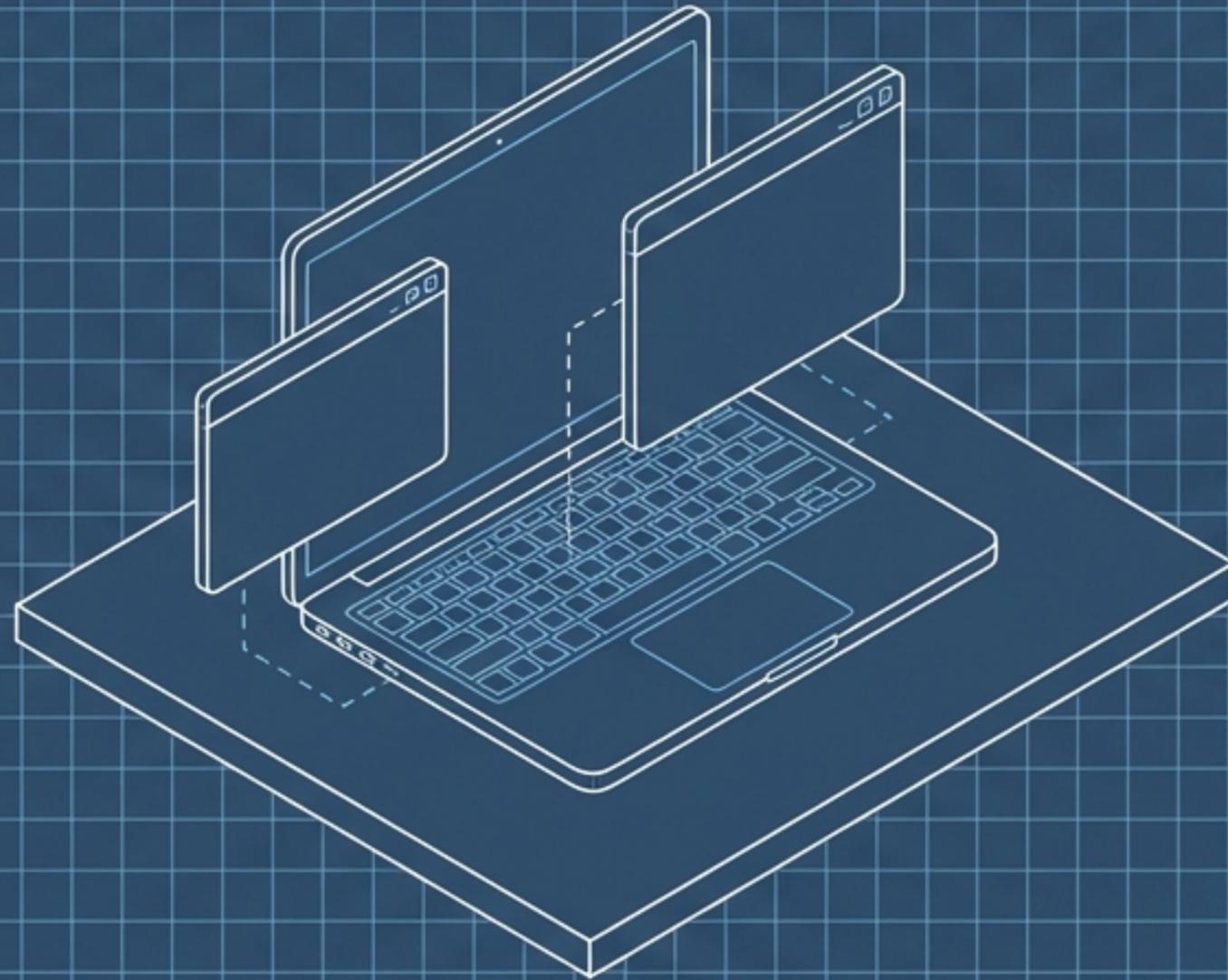


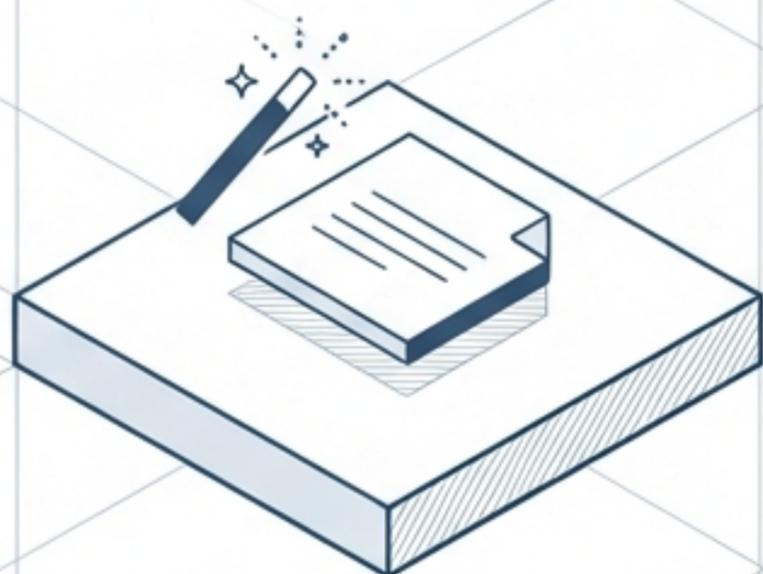
# 知財業務における「AIエージェント」導入設計図

Claude for Workがもたらすローカル統合と実務パラダイムシフト

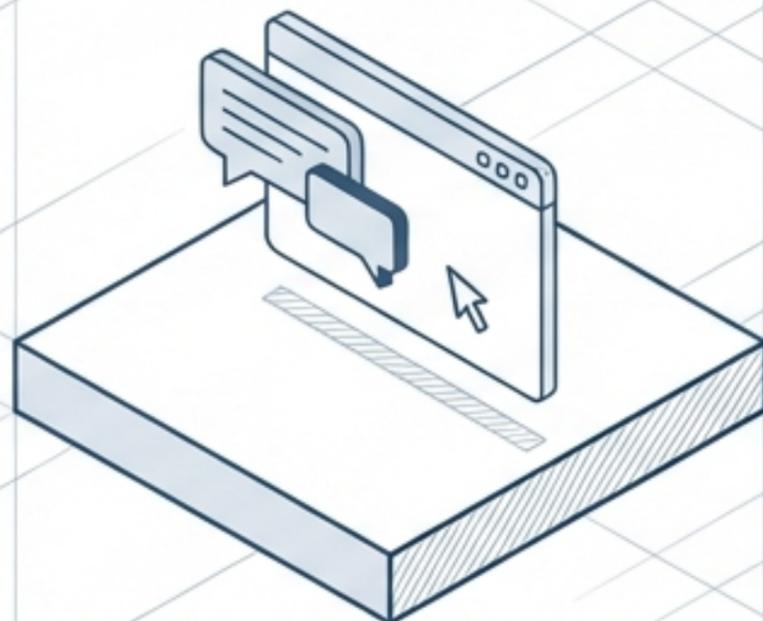


2026年3月

# AIは「対話」から「自律実行」のフェーズへ



**生成AI  
(Generative AI)**  
コンテンツの生成と要約



**対話型AI  
(Conversational AI / Chatbots)**  
プロンプトベースのQ&A



**自律型エージェント  
(Autonomous Agents)**  
アプリを横断した具体的タスクの自動実行

単なるチャットボットを超え、デスクトップ上のツールを直接操作する「AIエージェント」が実務の新たな標準となります。

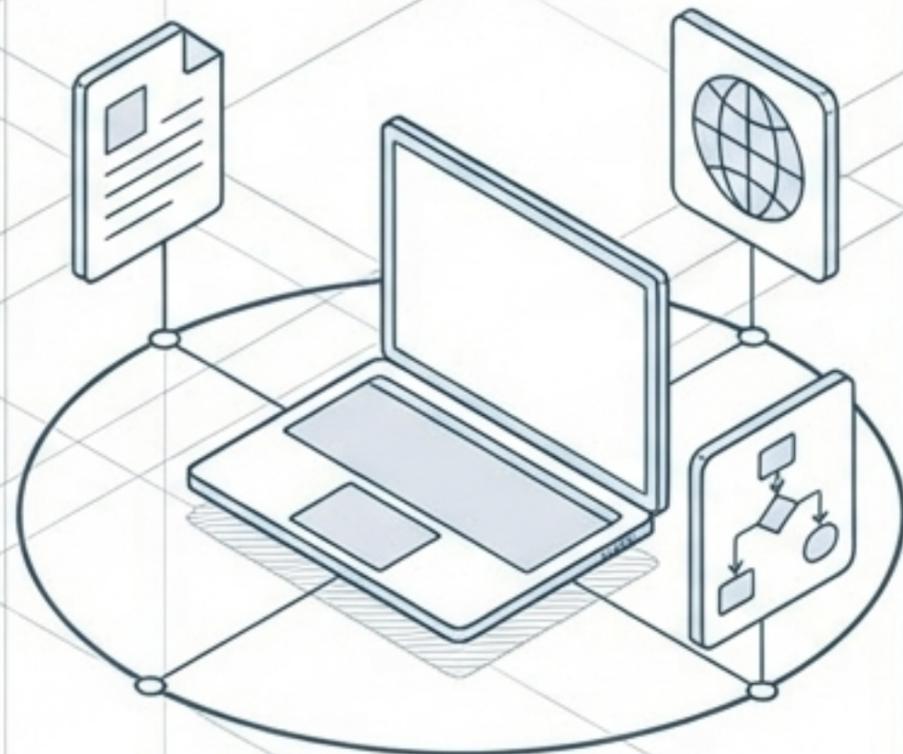
# アーキテクチャの根本的差異：組織のコンテキスト vs ローカル実行

## 組織のインテリジェンス（クラウド実行型）



Microsoft 365エコシステムに完全統合。  
メール、カレンダー、Teams等の「組織コンテキスト」  
を活用。組織の一員として機能。

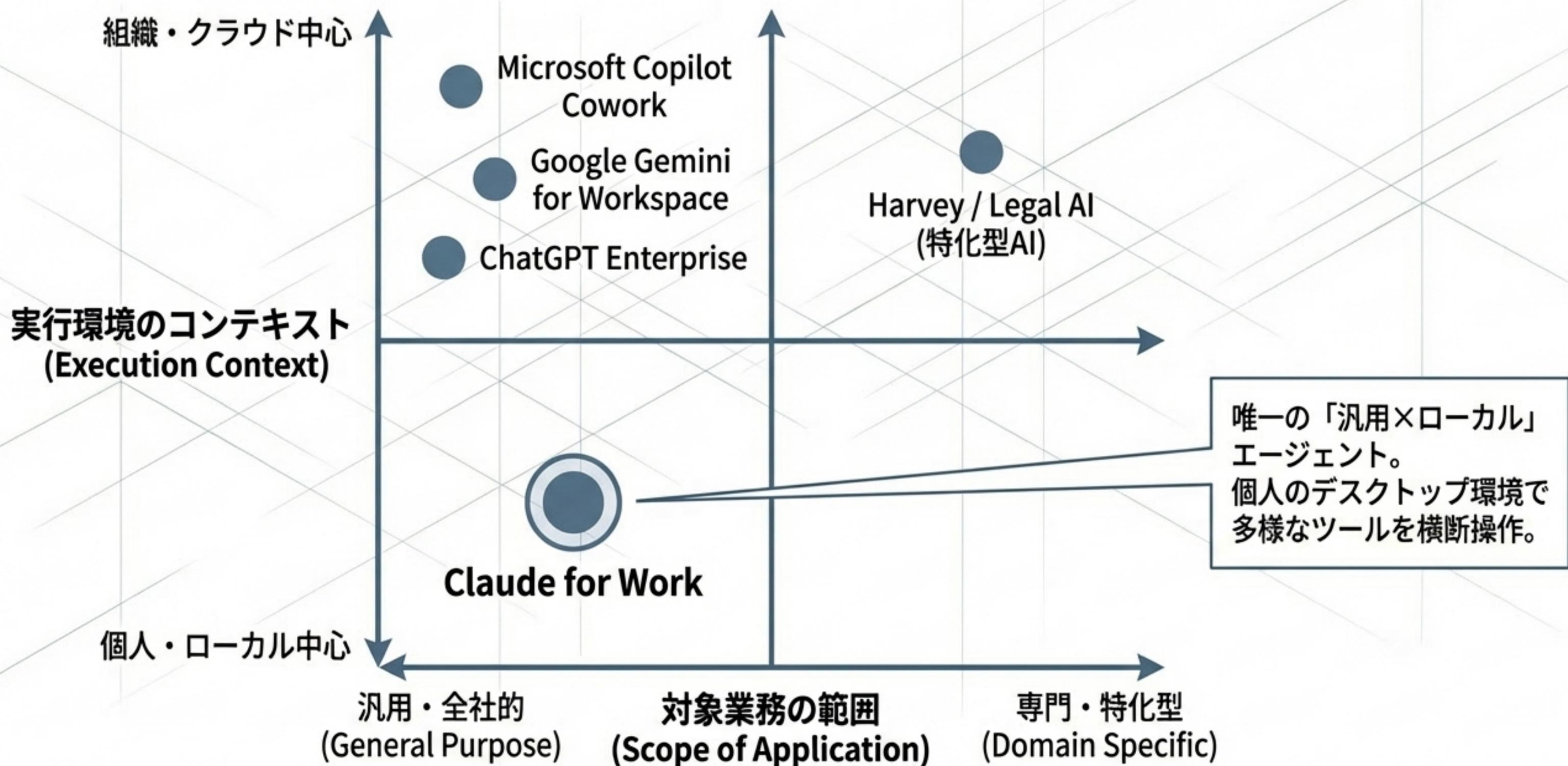
## 個人のクロスアプリ・アシスタント（ローカル実行型）



組織コンテキストから意図的に切り離されたアーキテク  
チャ。PC上でローカルに動作し、特定のエコシステムに  
依存せず複数アプリを直接操作。

未公開の発明情報を扱う知財業務において、ローカルで完結するClaudeの独立性は強力なアドバンテージとなります。

# AIエージェントの競合ランドスケープ



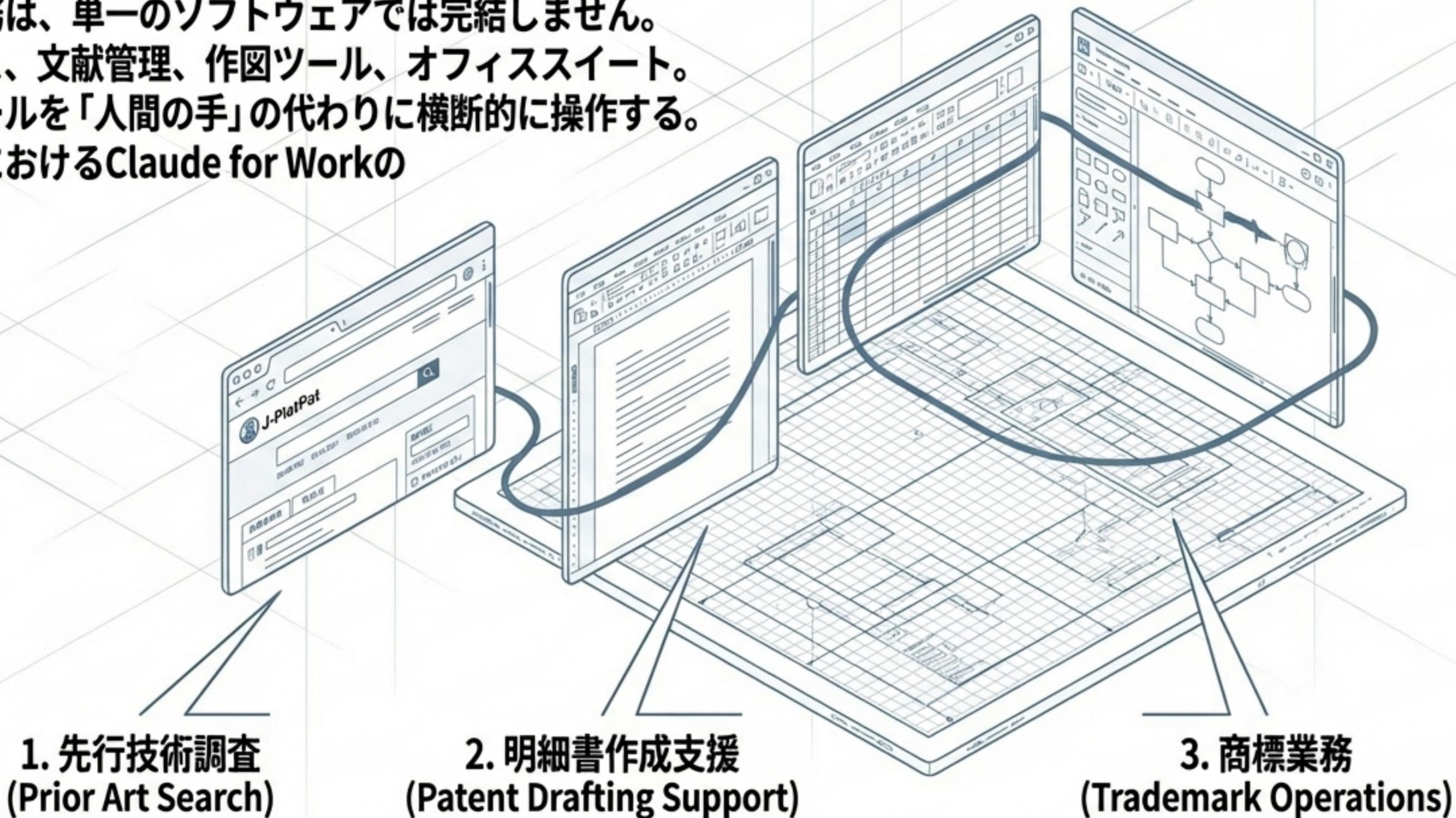
# 主要エージェント製品の機能比較マトリクス

製品名	アーキテクチャ	エコシステム依存度	組織コンテキスト活用	知財（機密）環境への適合性
Claude for Work	ローカル実行型	○ (低：アプリ横断)	○ (非依存)	● (高：ローカル完結)
Microsoft Copilot Cowork	クラウド (M365内)	● (高：M365必須)	● (Work IQ)	● (テナント管理に依存)
Google Gemini for Workspace	クラウド (GCP)	● (高：Workspace)	●	●
Harvey (Legal AI)	クラウド (特化型)	○ (独立プラットフォーム)	○	● (法律・知財特化)

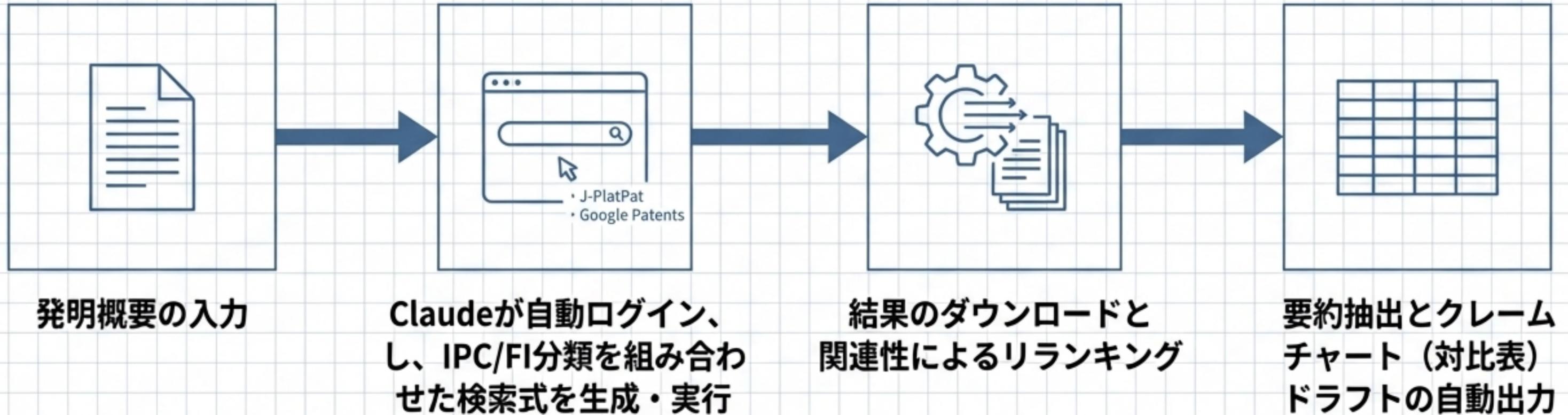
エコシステムに縛られず、手元の多様なツール（作図ソフトや外部データベース）をシームレスに連携させるには、ローカル実行型のClaudeが最適解となります。

# アプリケーションの壁を越える：知財ワークフローへの実装

特許や商標の業務は、単一のソフトウェアでは完結しません。  
検索データベース、文献管理、作図ツール、オフィススイート。  
これら個別のツールを「人間の手」の代わりに横断的に操作する。  
これが知財業務におけるClaude for Workの  
最大の真価です。



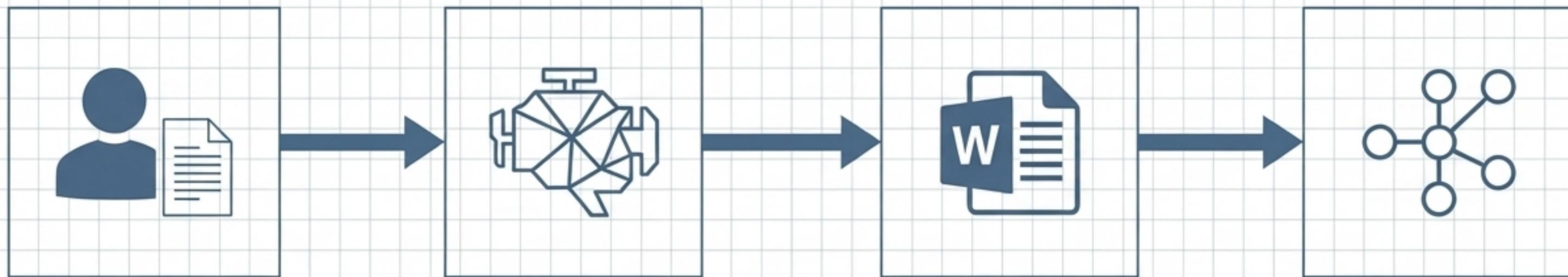
# 実装設計図 1：先行技術調査の自動化・高度化



**調査時間を最大93.5%削減（NEC社の生成AI×RAG活用事例に基づく）**

検索式の試行錯誤やコピー作業から解放され、発明の核心部分の高度な分析にリソースを集中。

## 実装設計図 2：明細書作成における協働ドラフティング



弁理士による  
「独立クレーム」と  
「発明のポイント」の入力

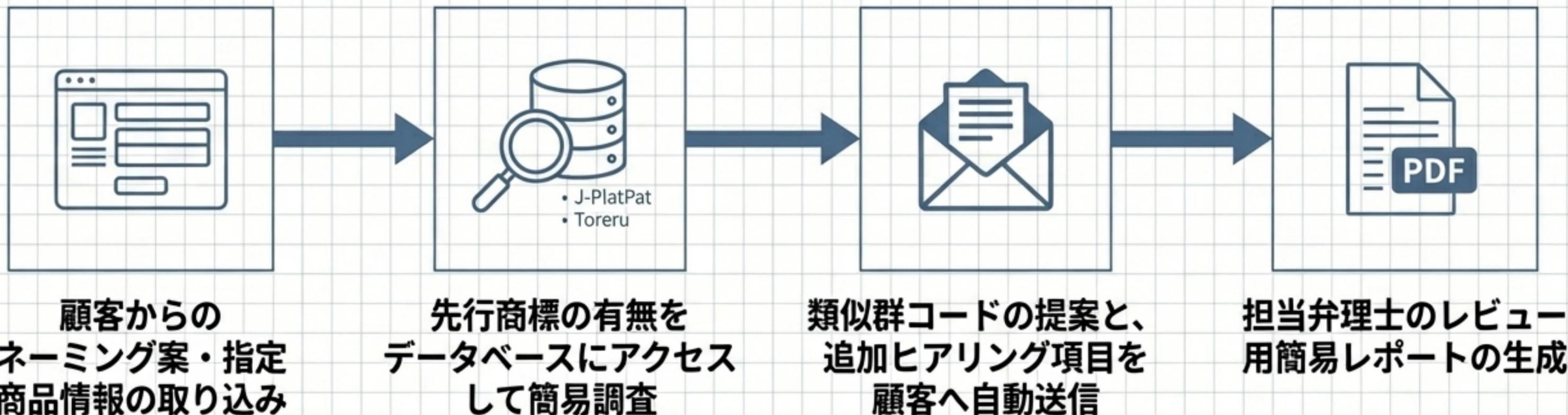
独立クレームに基づく複  
数バリエーションの「従属  
クレーム」案の自動生成

課題・解決手段・効果  
セクションの  
ドラフト作成

アプリを直接操作し、  
フローチャートや構成  
図のラフを自動描画

人間が発明の「コア」を作成し、AIがその「周辺」を固める。  
これが生成AI時代の推奨される協働モデルです。

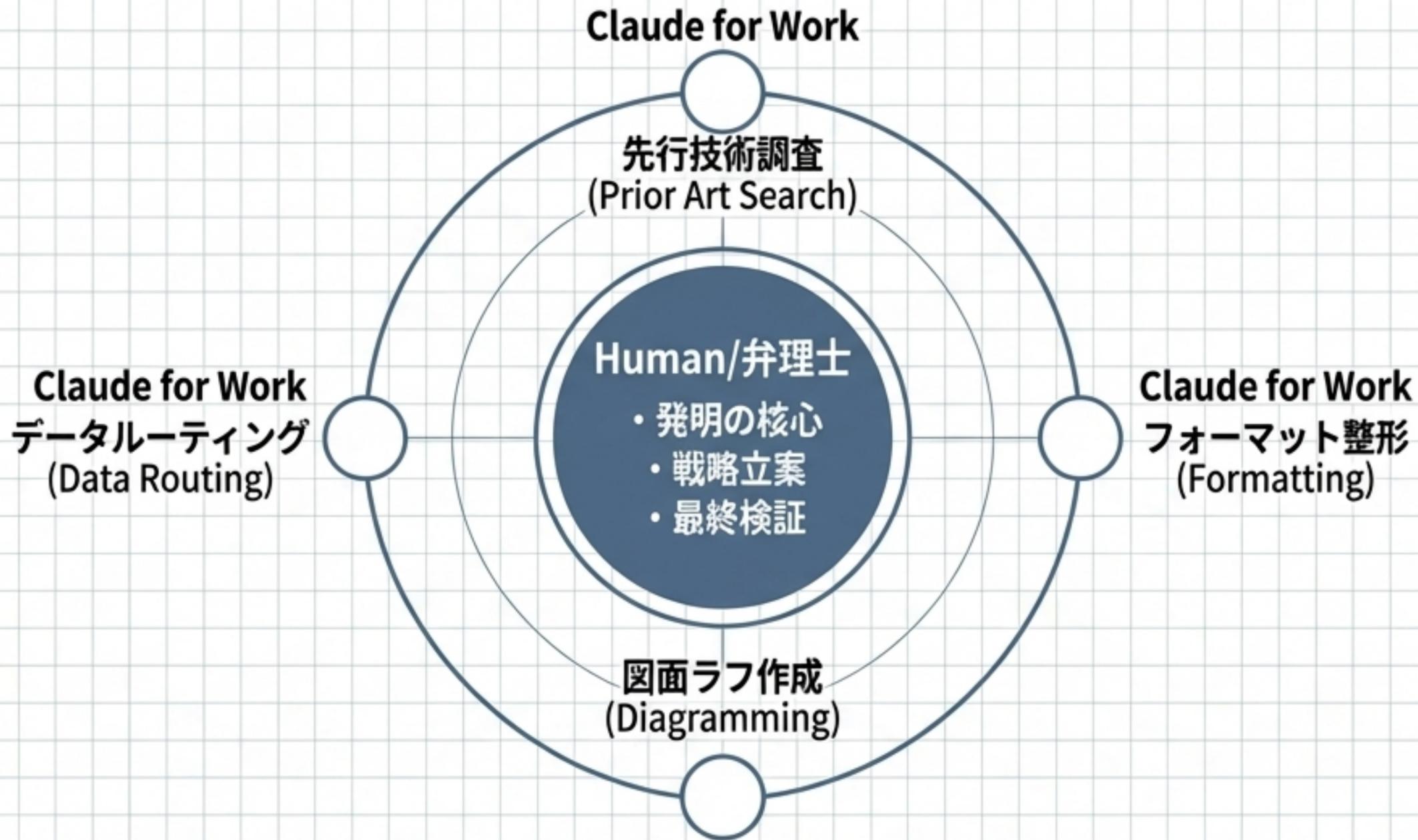
# 実装設計図 3：商標業務のフロントエンド効率化



**顧客との面談時間を半減（弁理士法人白坂の活用事例に基づく）**

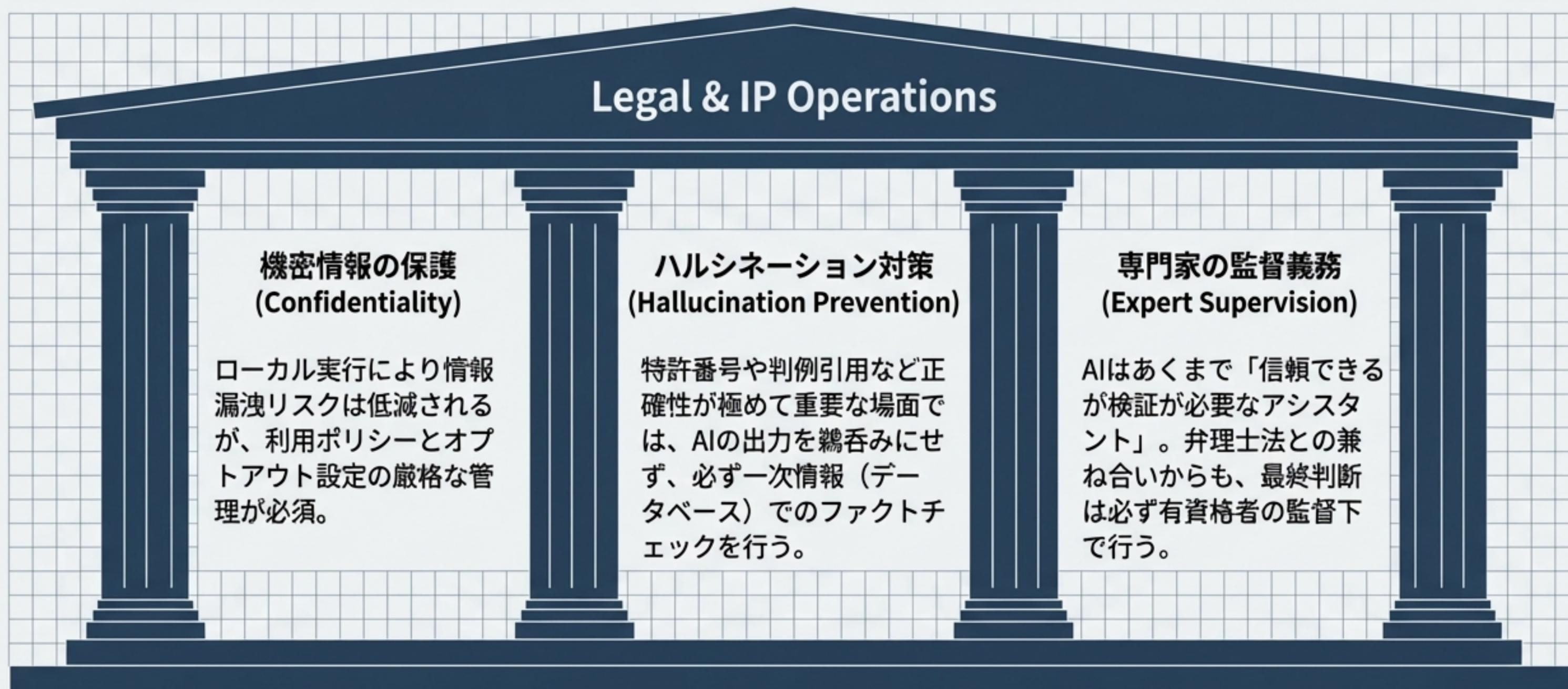
事務的確認を自動化し、戦略的コンサルティングの時間を創出。

# AIと専門家のシナジーモデル：「コア」と「ペリフェラル」



人間とAIは競合しません。弁理士が最も価値を生む「中心的な判断」に専念できるよう、Claudeが「周辺的な定型業務」を高速で周回し処理する。これが知財DXの完成形です。

# ガバナンスの設計：知財実務における3つの防壁



# 実務のあり方を根底から変えるエージェントの夜明け

Anthropic社のClaude for Workは、単なるテキスト生成ツールではありません。  
それは、アプリケーションの壁を越え、個人のデスクトップで自律的に機能する強力な「手」です。

知財業務における膨大な定型作業を委譲し、  
専門家が真の戦略的価値を提供する時間を創出する。  
AIエージェント技術の進化は、2026年、  
まだ始まったばかりです。

